



日時	2024年12月20日 10:00					試合形式	90分		
会場	ニューベリー・アスレチック					ピッチ状態	天然芝		
日本代表			2	0 2	前半 後半	1 2	3	アルゼンチン代表	
警告・退場		後半	前半	チーム合計		前半	後半	警告・退場	
		4	5	9	シュート	11	5	7	
		3	6	9	GK	15	8	7	
		3	1	4	CK	3	2	1	
		3	5	8	直接FK	9	4	5	
		1	2	3	間接FK	4	1	3	
		1	2	3	(オフサイド)	4	1	3	
		0	0	0	PK	1	0	1	

【日本】

【アルゼンチン】



【得点経過】

- 4 1分[アルゼンチン]ロングボールの連携ミスから No.7 がボールを奪いシュート。
- 4 9分[日本]コーナーキックの混戦から結城が右足シュート。
- 7 7分[アルゼンチン]ロングボールの連携ミスから No.7 がワンタッチシュート。
- 8 5分[日本]横井の自陣ロングボールから梅村が抜け出し、ワンタッチシュート。
- 8 7分[アルゼンチン]クリアした足が No.7 の足に当たったと判定され PK。No.18 が一度は GK に防がれるも自ら押し込みゴール。

【交代】

3 3分[アルゼンチン]	IN NO. 1 8	⇔	OUT NO. 9
[アルゼンチン]	IN NO. 1 3	⇔	OUT NO. 1 5
6 3分[アルゼンチン]	IN NO. 1 6	⇔	OUT NO. 6
7 2分[アルゼンチン]	IN NO. 1 4	⇔	OUT NO. 1 1
7 3分[日本]	IN NO. 1 6 原	⇔	OUT NO. 1 4 下鶴
7 6分[日本]	IN NO. 9 小川	⇔	OUT NO. 1 0 佐藤
	IN NO. 1 5 梅村	⇔	OUT NO. 1 7 大久保
[アルゼンチン]	IN NO. 6	⇔	OUT NO. 2
8 2分[日本]	IN NO. 1 3 小才	⇔	OUT NO. 吉川
8 8分[日本]	IN NO. 5 福原	⇔	OUT NO. 1 1 犬塚

ゲームコンセプト

全員攻撃・全員守備

攻撃コンセプト

- ・中央突破(3人コンビネーション)
- ・サイド崩し(ソロ)(コンビネーション)(ニアゾーン)
→ニア・プルバック・ファー
- ・ビルドアップ
→少ないタッチ+パススピード(緩急)+サポート

守備コンセプト

- ・1 vs 1 で絶対に負けない
- ・前線、中盤の守備、ゴール前の守備
- ・クロス対応
- ・プレスバック

ゲーム内容

強風が吹き荒れる中のゲームとなったが、1stleg 同様に開始から積極的にゴールに向かう場面が見られた。前半 3 分には、大久保がペナルティエリア外から振り向き際にシュートを放ち、惜しくも枠外にそれてしまった。日本は左サイドから大外クロスを入れ、チャンスを作るが決め切ることができなかった。前半 21 分には犬塚がハーフウェー付近で相手のクリアーボールを奪い、そのままペナルティエリア内までボールを運びシュートを放つが GK に阻まれてしまう。更に前半 30 分に日本のカウンターからゴール前で数的優位の状況を作り、ペナルティエリア内で大久保がシュートを放つものの惜しくもゴールを捉えることができなかった。1 分後には、ロングボールに抜け出した下鶴のシュートもポストに嫌われてしまう。チャンスを決め切れないうち、前半 41 分にアルゼンチン GK のクリアーボールが DF ラインの背後に落ち、日本の連携が乱れているところを 7 番に決めら

れ、先制点を献上してしまう。

後半開始直後の4分にコーナーキックの混戦から結城が右足でゴールを決め、早々に振り出しに戻すことができた。お互い一進一退の展開が続く中、後半32分にまたしてもロングボールの対応ミスから失点を喫してしまう。後がない中、後半40分に横井のロングボールに反応した梅村が抜け出し、ダイレクトにゴールに叩き込み同点に追いつく。逆転ゴールを狙う最中、アルゼンチンに不可解なPKを与えてしまう。一度は荻野がセーブするも、リバウンドを決められ、再び一点差となってしまった。それでも最後まで諦めずにゴールを奪い行く姿勢を見せていたが、アディショナルタイムもないまま終了のホイッスルが鳴り、セカンドレグも一点差で惜敗した。